**伝統音楽の指導に関する実践事例について**

（様式１）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 都道府県・指定都市名 |  | 都道府県等番号 |  |
| 学校名又は機関名 |  |
| 職　　　　　　名 |  |
| 氏　　　　　　名 |  |

１．実践の概要（基本情報）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学　校　名 |  | 学年 | 第　　　学年 |
| 題材名（教材名） |  |
| 題材の目標 |  |
| 使用楽器(数及び備品等の別)又は歌唱内容 | 数：　　　　（内備品：　　　レンタル：　　　他：　　　　　　) |

２．指導におけるポイント

|  |  |
| --- | --- |
| 指導上の工夫他の参考となる点 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 学習の成果児童生徒の感想 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 指導上の課題難しかった点 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 実践を通しての感想今後取り組みたいこと |  |

３．学習指導の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | 主な学習活動 | 教師の指導・支援 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

４．範奏、範唱や指導等を行う外部講師の活用

|  |  |
| --- | --- |
| 活用の内容・成果 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 活用上の課題 |  |

**記入例**

**伝統音楽の指導に関する実践事例について**

（様式１）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 都道府県・指定都市名 | ○○県 | 都道府県等番号 | ○○ |
| 学校名又は機関名 | ○○市立○○中学校 |
| 職　　　　　　名 | 教諭 |
| 氏　　　　　　名 | ○○　○○ |

１．実践の概要（基本情報）

他の参考となるような例があれば２へも記入してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学　校　名 | ○○市立○○中学校 | 学年 | 第　３　学年 |
| 題材名（教材名） | 和の世界を奏でよう　（箏曲「さくらさくら」、器楽・創作・鑑賞） |
| 題材の目標 | 箏の特徴や基本的な奏法を知り，音色の美しさを感じながら演奏する。 |
| 使用楽器(数及び備品等の別)又は歌唱内容 | 例：箏（↓も記入）　　　例：長唄　　　等数：２０　　（内備品：１０　レンタル：１０　他：０　　　　　) |

２．指導におけるポイント

|  |  |
| --- | --- |
| 指導上の工夫他の参考となる点 | ・箏の演奏を軸に，他の楽器による効果音を加えて，和の音楽をつくるための工夫を考えさせた。・箏の数の関係から，４人１組のグループ活動にした。・簡単なパート譜を用意し，アンサンブルに参加しやすくした。箇条書きでポイントを端的に記入してください。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 学習の成果児童生徒の感想 | ・生徒が意欲的に演奏に参加する姿が見られた。・授業感想には「初めてだったけど，うまく音を出せてよかった」「楽しかったので，またぜひやってみたい」という感想が多く見られた。・ |

必要に応じて記入枠を上下方向に広げたり狭めたりしてください。

|  |  |
| --- | --- |
| 指導上の課題難しかった点 | ・生徒数に対し，箏の数が足りない。 ・なるべく全員に箏を弾かせるには，時間数がかかりすぎてしまう。・・ |

|  |  |
| --- | --- |
| 実践を通しての感想今後取り組みたいこと | ・はじめは，指導が難しいのではないかと心配したが，生徒たちが予想以上に楽しそうに演奏するのを見て，手応えを感じた。必要に応じて記入枠を２ページ目に移動してかまいません。 |

３．学習指導の展開

ここには実際の学習指導の様子を書く。実践に合わせて，工夫してまとめる。

表を挿入するなどして，見やすくまとめてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | 主な学習活動 | 教師の指導・支援 |
| １ |  |  |
| ２ |  |  |
|  |  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 導入 | 学習の中心となる時間の指導例を記載してください。省略可（題材の計画のみでも可）１時間扱いの場合は題材の計画を省略表の書式は変更してかまいません。 |  |
| 展開 |  |  |
|  |  |  |

４．範奏、範唱や指導等を行う外部講師の活用

|  |  |
| --- | --- |
| 活用の内容・成果 | （記入例）・外部講師（学校予算）１名による箏の模範演奏。・生徒に箏の音色の美しさや奏法の違いによる表現の違いを感じてもらうことができた。・外部講師が箏の不足分を持ってきてくれたので、１人１面使うことができた。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 活用上の課題 | （記入例）・市内在住の外部講師を探すのが難しかった。・学校予算の都合上、１時間しか指導してもらえなかった。 |

本事例を公表する場合もあるので、写真を入れる場合は、掲載の了解が取れているものをお願いします。（写真を入れない場合は枠を削除してください）

**２ページ以内でまとめてください**。

**〔参考〕**

**※（文化庁からのご案内）範奏、範唱や指導等を行う芸術家の学校への派遣支援**

　　文化庁では、芸術系教科の授業や学校行事等において活用いただくため、学校が選んだ芸術家（個人または少人数）を翌年度その学校に派遣し、教室や体育館等で範奏、範唱、指導や講話等を行って頂く事業を実施しています（芸術家の派遣事業【学校公募型】）。

　　また、オーケストラや能楽、バレエ、邦楽等、文化庁が選んだ一流の文化芸術団体の中から学校が希望した文化芸術団体を翌年度その学校に派遣し、体育館等で事前ワークショップ（鑑賞指導及び範奏、範唱や指導等）及び本公演を行って頂く事業も実施しています（巡回公演事業）。

　　これらは、文化庁の「文化芸術による子供育成総合事業」の中で実施しており、芸術家への謝金（講師１人３５，０００円／回、補助者５名まで）や旅費、諸雑費（楽器運搬費・著作権使用料等）、文化芸術団体の公演費（ワークショップ含む）や旅費は文化庁が負担いたしますので、是非ご活用いただけますと幸いです。

◆文化庁「文化芸術による子供育成総合事業」パンフレット

<https://www.kodomogeijutsu.go.jp/dl/pamphlet.pdf>

◆芸術家の派遣事業

<https://www.kodomogeijutsu.go.jp/haken/index.html>

◆巡回公演事業

<https://www.kodomogeijutsu.go.jp/junkai/index.html>